

委員会報告

# オープンキャンパス土木学会2023 開催報告

土木広報センター  
市民交流グループ 土木の魅力グループ  
大谷 憂馬（復建調査設計（株））

## 「オープンキャンパス土木学会」について

土木の魅力グループでは、2017年より始まった「オープンキャンパス土木学会」を新型コロナウイルス感染症拡大に伴い2020年度は開催を見送り、2021年度と2022年度はオンライン形式の体験イベントとして開催していたが、その猛威も落ち着きを見せてきたため、2023年度は7月22日（土）に4年ぶりとなる対面形式のイベントとして土木学会本部構内（東京都新宿区四谷）にて開催した。この催しは、土木学会構内を広く一般の方々にも開放し、学会関係者やその家族、学生など、多くの方々にご来場いただき、さまざまな体験型プログラムや学会が保有する史料・映像などを通じて、「土木」への関心と理解

を深めていただくとする取り組みである。さらに、地域の方々や土木以外の仕事に従事する方々にもご来場いただき、市民・地域・社会に開かれた学会として、学会の有する知見や資源を社会へ広く還元・貢献していくことを目指しているものである。

## 「オープンキャンパス土木学会」プログラムの紹介

オープンキャンパスのプログラムを表1に示す。土木学会の各委員会、関係団体のご協力のもと、各プログラムを開催しております。このなかでいくつかの内容を紹介する。

「どぼくふれあいフェスタ」では、建設重機のラジコンを使用したスーパーボールすくい（写真1）、橋梁やトンネルの構造（写真2）、土砂崩れや液状化の仕組み、足で距離を測る歩測体験、防災をテーマにしたカー

表1 オープンキャンパスプログラム

プログラム	担当委員会他
ほそく体験 ～距離を測ってみよう～	コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
どぼくかるたでお勉強	
えきじょうか実験 ～えきじょうかの仕組みは？	
橋の種類や強さを学ぼう	
水と一緒に旅をしてみよう！	
目指せ全問正解！どぼくクイズ	
どぼくふれあいフェスタ	地盤工学委員会 斜面工学研究小委員会
ナットでがけ崩れ実験	構造工学委員会 次世代教育小委員会
水で斜面を動かす実験	
アーチ橋模型	トンネル工学委員会 技術交流部会
重ねはり	
トンネル実験 ～つよいトンネルの形は？	企画委員会 若手パワーアップ小委員会
ポケドボカードゲームで防災を知ろう	
建設重機でスーパーボールすくい	建設用ロボット委員会
コンクリートでアクセサリ	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科
どぼくクイズラリー	土木広報センター
どぼくテラス（ぬりえ・読書コーナー、土木学会紹介コーナーなど）	東海旅客鉄道（株）、土木広報センター
土木コレクション MINI 展（クロマキーで記念撮影、ドボコレトレイン、ドボコレカプセルトイなど）	

ドゲーム（ポケドボカードゲーム）など、土木関係者以外でもわかりやすい実験や体験を通して、土木を学んでいただきたい。

また、特別企画展として「土木コレクション MINI 展」を併せて開催した。東海旅客鉄道（株）の協力により「リニア中央新幹線」をテーマとして、クロマキー撮影、ドボコレトレイン（写真3）、ドボコレカプセルト

イ（写真4）により、リニア中央新幹線の仕組み、歴史、魅力を伝えることで大人も子どもも盛り上がるものとなった。

併せて、「どぼくクイズラリー」として、各プログラム会場でクイズを出し、ラリー形式とすることで、より多くの方に各プログラム会場に足を運んでいただき、体験していただくような仕組みとした。



写真1 建設重機でスーパーボールすくい



写真2 トンネル実験 ～つよいトンネルの形は？

## 「オープンキャンパス土木学会」のアンケート結果と来年度に向けて

来場者にご協力いただいたアンケート結果を図1に示す。全体として大人も子どもも楽しんでいただけたアンケート結果となり、特に「来年も来たい」との回答が99%を占める高評価をいただけた。本イベントの開催趣旨のとおり、土木に対する興味を持つてもらえたと感じられるアンケート結果となった。

プログラムの中でも建設重機のラジコンを用いたスーパースポーツは、子どもからの面白かったとの回答が50%を超える結果となった。

また、来場のきっかけとしては、例年通り

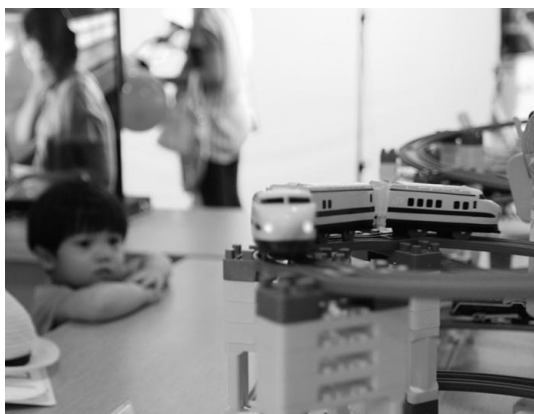


写真3 ドボコレトレイン

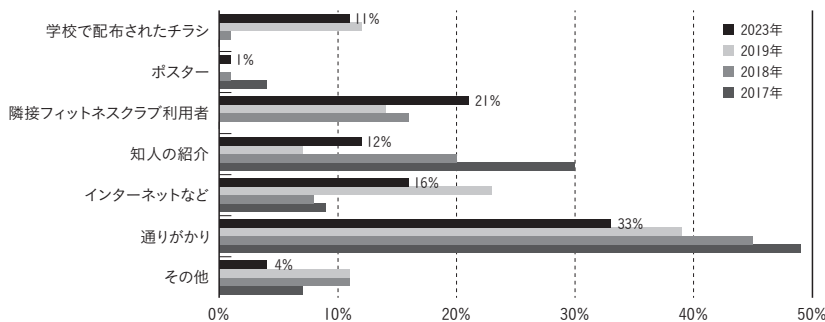
り「通りがかり」が最も多く、次いで「(隣接する)フィットネスクラブ利用者」「インターネットなど」が多くなった。近隣小学校へのチラシ配布、土木学会SNSによる案内などの広報活動による来場者の割合は、全体の30%近くは上っており、広報活動の効果が表れている。

来場者数は357人と、前回(2019年度)と比べて126%の増加を達成することができた。2024年度はさらなる来場者数の増加を目指し、広報活動をさらに強化して効果的な情報発信を行うとともに、共催の委員会を拡大することでプログラムのさらなる充実・刷新や開催時間の延長なども考慮し、より魅力的なものにしたいと考える。

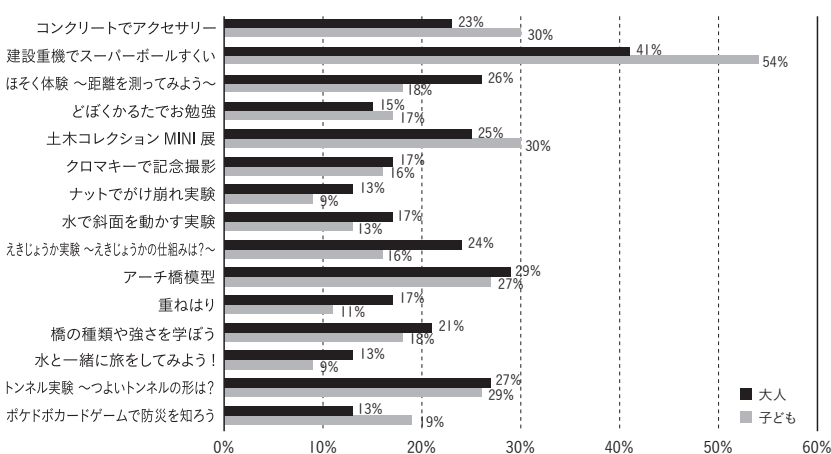


写真4 ドボコレカプセルトイ

### ■来場のきっかけ(複数回答)



### ■おもしろかったプログラム(複数回答)



### 《自由意見(大人)》

- 今まで何回も通りかかっては、何の施設なんだろうと気になっていました。今日初めてイベントで中に入って、実態が分かったのと、イベント自体もとても楽しく、親子(3歳と5歳)で楽しめました。来年も来ます!ありがとうございます。
- 映像上映会で、より土木ファンになりました。これからも通わせていただきます。
- とても面白いイベントでした。もっと広報して、たくさんの人たちに体験してほしい。
- 子どもより親の方が楽しんでしまったかもしれません。すごいなー、こんなふうになっているのか!と、新鮮で驚きました。想像の100倍、楽しい時間になりました。ありがとうございます!!
- 建設コンサルに所属しており、子どもにも興味を持ってもらえるよい機会と思い、参加しました。どのコーナーもアイデアが豊富でおもしろかったです。

### 《自由意見(子ども)》

- どぼくは、いままでしなかったことがいっぱいあって、おもしろかったです。
- 橋ががんじょうになるために工夫されているところがよくわかった。
- リニアが浮く仕組みがおもしろかった。
- 地面が水によって浮くということに驚きました。

図1 来場者へのアンケート結果